



もいおかYMCA ニュース



日帰りスキーツアー

日帰りスキーツアーが2月6日(日)、網張スキー場で行われました。朝、8時にYMCAに集合した子供達は4名。吉田ディレクターと伊東恵合子リーダーに引率されてYMCAのハイエースで出発。

途中、小岩井農場の雪祭りを見学したのち、丸一日思う存分スキーを堪能して帰ってきました。盛岡市内の雪は暖冬の影響が降っては溶けるの繰り返しですが、市の周辺のスキー場は、なかなかのコンディションだそうです。

日帰りスキーツアーは以下の日程で今後実施されます。

日帰りスキーツアー

2月13日(日) 雫石スキー場
3月 5日(日) 安比スキー場

8時YMCA集合
17時YMCA解散
参加費:5000円
リフト代、昼食代は別料金



途中の小岩井農場まきば園にて、マスコットの牛と記念撮影。
ご機嫌の子供達と、伊東リーダー

地の塩

10月23日 Y・M・C・Aをつくる。副会長に指名される。青年のための特別な事業の必要を痛感し、Y・M・C・Aをわれわれの事業に加えた。

1881年の内村鑑三の日記にしている。日本のYMCAの創立にはこのほかに新島 襄(今日の同志社大学の創立者)等さまざまな人が関わっていた。

YMCAは出会いと気づきの場だ。以来多くの人々がYMCAに足を運び、巣立っていった。

漫画家の手塚治虫は、大阪大学の医学部在学中、大阪YMCAの会館の一室にいつもピアノを弾きにきたという。ノーベル賞を受賞した利根川教授は大阪のYMCAで浪人時代をすごした。サッカー日本代表の加茂元監督は、神戸のYMCAで英文のタイプの教室に通いながら世界に夢をさせていた。神戸というフォークシンガーの高石ともやは、神戸のYMCAのリーダーだった。俳優の牟田貞三も東京YMCAである。

実に多くの人々が多感な青年時代をYMCAですごしている。明治の先達たちの熱い思いと情熱がその後多くの人たちによって継承されている。

いま、不確実な時代である。多くの青少年たちをとりまく状況は悪化しているように思える。

YMCAの意義がとわれる時代になってきている。

各地のYMCA① (福岡)

世界120カ国、さまざまな地域で活動している、YMCAを紹介するコーナーです。今回は九州は、福岡のYMCAの活動です。

福岡は慢性的な水不足に悩まされているが、生活用水の3分の1を筑後川から取水している。その筑後川の水源地の一つが大分県日田郡中津江村である。1991年秋、2度の台風が襲い、筑後川流域で約2万ヘクタールにも及ぶ山林が被害を受けた。福岡YMCAでは、これを契機に「倒れた木はもとに戻らないが、新しい生命を育てることができる。」と福岡市民を中心に「森林ボランティア」を開始した。

この8年間に1500人を超すボランティアが参加し、植林、下草刈り、間伐にあたった。植林した苗木は5万本を超えている。現在は、YMCAこどもが山村留学したり、逆に村の子供が福岡にきたり、国際交流支援、福祉講習会の開催などへとひろがっている。

植えた木が台風で倒れた古木のように育つためには、300から500年の歳月を必要とする。私達の夢は、今の小学生の孫の世代が中津江村にきて、3世代前から育ててきた木々が形作った森の中で、村の人とキャンプを楽しむことである。

(福岡YMCA 久保 誠治)

